

文法を楽しく!!

「は」と「が」(1)

通信で習った項目: 「は」と「が」、他動詞・自動詞、受身、やりもらい、～てきた、～ていく、～ている、～てある、～ために、～ように、～たら、～と

今回と次回は、助詞「は」と「が」について考えます。では、まず、次のaとbの違いについて考えてみてください。

- (1) a. お金がない。
b. お金はない。

皆さんは2つの文の違いを考えると、まず何から考えますか。「は」「が」などの文法的な働きですか。それとも、自分の感じるニュアンスの違いですか。

皆さんが2つの文(語も同じです)の違いを考えると、文法的な分析はしないで、まず、その文がどんな場面・状況で使われるか、いつ使われるのかを考えてください。

(1) の2つの文はどんな状況・場面で使うでしょうか。

例えば、あなたがレストランで食事をして、さあ、お金を払おうとしたとき、財布の中をのぞいたら…no money!!… そんなときあなたはどのように言いますか。

そうです。「お金がない」です。こういう場合は「お金はない」は使いません。

実際の会話では次のようになるでしょう。場所は「レストラン」、登場人物Aは会社員・男、Bは会社員・女で、知人同士です。

- 【会話】 A: おいしかったですね。そろそろ出しましょうか。
B: ええ、出しましょう。
A: (レジで) 私が払いますよ。大丈夫ですよ。
B: そうですか。すみません。



A: あ、……。どうしよう。

B: どうしたんですか。

A: すいません、お金がないんです。

……

B: 大丈夫です。私が払いますよ。

ここで文法として言えることは、「が」は「発見」「報告」の働きをもつということです。この会話では、お金がないことを発見して、それを聞き手に報告しています。

子供のことには次のように「が」がよく現れます。

- (2) お兄ちゃんがとった。
(3) 大ちゃんがたたいた。

子供は「が」を使うことが多いようです。「が」を使って親に報告したり、訴えたりすることが多いからでしょう。

では、次に「お金はない。」はいつ使うか、具体的な会話を考えてみましょう。

場所は「家の中」、登場人物Aは息子・高校生、Bはその母親です。

- 【会話】 A: お母さん、お金貸して。
B: お金? 何するの。
A: いろいろ…。
B: だめよ。お金はないの。あなたもわかっているでしょう。
A: うーん、でも。
B: だめと言ったらだめです。



ここでは、「お金」は、話し手と聞き手にとっての「共通の話題」になっています。そして、「は」は「共通の話題」つまり、「主題」「トピック」を表しています。

「何／誰がどうする」「何／誰がどんなだ」などにおける「何／誰」に当たる部分を主語と言います。「お金がない」の「お金が」、「お兄ちゃんがとった」「大ちゃんがたたいた」の「お兄ちゃん」「大ちゃん」は主語になります。「お金はない」の「お金は」は、主語が共通の話題となって主題（トピック）になったものです。

では、次の2文はどうでしょうか。どういう場面・状況で使われるでしょうか。

i か ii の適切なほうを () に入れてください。(答はこのページのどこかにあります)

練習1 : a. これがいい。()
b. これはいい。()

i 友達からおみやげに携帯電話のストラップをもらいました。小さいライトも付いています。それを見て、あなたは何と言いますか。

ii 友達がおみやげにキーホルダーを買ってきてくれました。赤、青、黄色と3種類あるので、その中から一つ選ぶように言われました。あなたは何と言いますか。

「が」は「発見」「報告」のほかに、「主語を選ぶ」という働きがあります。練習1のaは「赤・青・黄色」のキーホルダーの中から、「これ」と言って一つ選んだことになります。bは携帯のストラップが共通の主題（トピック）になって、それについて話し手が感想を言っています。

練習2 : a. 空が青い。()
b. 空は青い。()

i 今日はとてもいい天気です。あなたは散歩に出かけました。ふと空を見上げたあなたは、

「あー、_____なあ。」と言いました。

ii 愛ちゃんが絵を描いています。山と花と太陽の絵です。愛ちゃんは山を緑に、花を赤に、太陽を黄色に塗りました。そして、空を茶色に塗ろうとしたとき、お母さんが言いました。「愛ちゃん、_____のよ。」

練習2 aの「が」は、「お金がない」と同じく、「発見」の働きをしています。bは、「空」という主題（トピック）について、母親が説明をしています。「は」を使

て説明するときは、「それは青い（ものだ）」というように、一般的なことや、そのもののもつ性質・状態を述べることが多いです。

では、ここで、今回出てきた「は」と「が」についてまとめてみましょう。

「は」 1. 主題（トピック）を表す。

例：私はリーと申します。どうぞよろしく
お願ひします。
お金はありません。

2. 一般的なこと、そのものの性質・状態を表す。

例：空は青い。地球は丸い。人間は死ぬものだ。彼女は美しい。

「が」 1. 主語を表す。

例：公園で子どもが遊んでいる。

2. 発見・報告を表す。

例：地震が起きた。バスが来た。お金がない。
空が青い。

3. 主語を選ぶ。

例：A：どれがいいですか。

B：これ／それ／あそれがいいです。

例：A：きょうは誰が発表するんですか。

B：由田さん／あなた／私が発表します。

3の例のAは「どれ」「誰」という疑問詞を使っています。疑問詞が主語のときは、助詞は「が」が使われます。

では、次回までの宿題です。1のaとbはどう違うかを考えながら、文を完成させてください。そして、2のaとbはどんなときに使うか考えてください。

宿題

1. a. 林さんが帰るとき、_____。
b. 林さんは帰るとき、_____。

2. a. 今日は友達と東京へ行くつもりです。
b. 友達と東京へ今日は行くつもりです。

参考文献

市川保子(2005)『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク
松岡弘監修(2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク

(!!) q (!) p 2 罫線 (!) q (!!) p 1 罫線 罫

このコーナーの担当者：市川保子（日本語国際センター客員講師）
このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。
「ヤスコの日本語ハウス」という個人のホームページを開いています。英語の翻訳も付いていますので、ぜひ活用してください。
ホームページのアドレスは、<http://homepage3.nifty.com/i-yasu/index.htm> です。